

Ⅰ 図上訓練について

(1) 実施日時

令和6年7月25日（木），令和6年7月26日（金） 13時30分から16時00分まで

(2) 実施目的

近年は，地球温暖化の影響に伴い，全国的に異常気象（線状降水帯の発生等）による災害の激甚化・頻発化が進んでいる中，本市では幸いにも大きな被害をもたらす災害は発生していない。それゆえ，防災対策部内において災害対応を経験していない又は経験が少ない職員が増えてきており，今後の災害発生に備えて部内の体制強化を図るために実施。

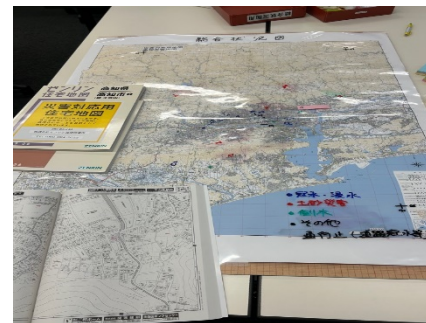
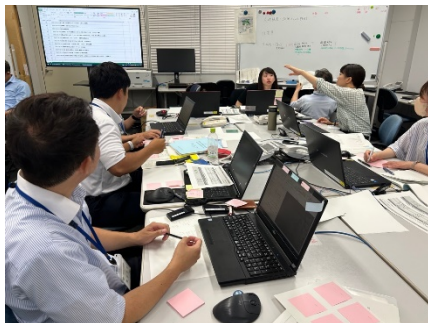
（参考）災害対策本部設置実績

令和3年度：1回 令和4年度：3回 令和5年度：0回

(3) 訓練内容

風水害を想定し，過去の図上訓練や実際の災害対応のクロノロジーを参考とした状況付与を防災対策部職員で行い，各種付与項目に応じた対応策を講じるもの。

(4) 訓練の様子



2 BCP・受援計画に基づく初動訓練について

(1) 実施日時

令和6年11月13日（水）13時30分から17時00分まで

(2) 訓練概要 対象：全部局 ※消防局・上下水道局は、参集見込回答状況の確認まで実施

- ・「安否確認システム」を活用した安否確認メールの受信及び回答
- ・所属長による所属職員の参集見込回答状況の確認
- ・部局内の職員参集状況の取りまとめ、部局内における受援調整 等
- ・受援調整班(防災政策課)による庁内の人員調整

(3) 実施報告（講評・課題等）

- ・昨年度訓練からの変更（シナリオ設定や訓練想定の改善）
訓練実施日を発災3日目とするシナリオの設定追加、参集目安時間の見直し、人員調整を行うフェーズの明確化など、訓練想定の改善を行った。
- ・BCPの再確認に繋がった
訓練実施後のアンケート調査において、課BCPの点検・再確認になったという回答が79%、部局BCPでは85%であった。
- ・一般職員の認識向上は今後の課題
津波浸水想定や長期浸水といった本市が抱えるリスクや職場への参集について、職員の理解が「かなり深まったと思う」「深まったと思う」の回答は計58%にとどまり、一般職員の認識向上に繋がったとは言い難い結果となった。職員が自分事として捉えられるよう訓練内容を見直すともに、研修等の機会を活用し、職員の認識向上に努めていく。
- ・受援調整班の庁内人員調整訓練を実施
新たに受援調整班（防災政策課）による庁内の人員調整の訓練も実施した。各部局からの報告内容の集約、業務の優先度に応じた人員配分といった一連の流れを確認することができた。
- ・保健師の人員調整
保健師は職員数が少なく、人員不足が生じる可能性が高い。保健医療調整本部による部局間の人員調整や厚労省による広域応援派遣調整の枠組みの活用や、現在検討中の高知市災害時保健活動マニュアルに関する議論を踏まえ、受援計画への反映を検討する。
- ・所属長不在時の検討
昨年度に引き続き、所属長が参集できないことも想定し、BCPの職務代行順位表に基づき、課長補佐や係長等も訓練に含めてはどうかとの意見が多く寄せられた。安否確認システムで所属職員の回答状況を閲覧できる権限が所属長にしか付与されておらず、閲覧権限の拡充は予算措置を伴うことから、改善に向けて総務部と協議していく。

3 総合防災訓練について

(1) 実施日時

令和6年11月16日(土) 8時30分から12時15分まで

(2) 会場

城西公園グラウンド

(3) 訓練内容

- ①臨時情報・緊急地震速報対応訓練(高知地方气象台) ②シェイクアウト訓練(高知市)
③情報収集訓練(消防/警察/自衛隊/郵便局/アマチュア無線連盟/NPO法人ピースウィンズ・ジャパン)
④合同調整所設置訓練(消防/警察/自衛隊) ⑤救助救出訓練(消防/警察/自衛隊) ⑥道路啓開訓練(建設業協会)
⑦広域避難訓練(高知市/高知県/いの町/市民等) ⑧災害救急医療救護活動訓練(保健所/日赤/いずみの病院/消防)
⑨応急給水訓練(上下水道局/海上保安部) ⑩物資配送訓練(AZ-COM丸和・支援ネットワーク/中四国丸和ロジスティクス/
イオン/高知県警備業協会) ⑪応急復旧訓練(四国電力送配電/上下水道局/高知市管工事設備業協同組合)
⑫災害廃棄物仮置場設置訓練(高知市/田中石灰/高知県警備業協会) ⑬避難所支援訓練(高知県冷凍空調設備業工業会)

※ ①②は同時実施

※ ③～⑬の訓練については、同時並行的に次々実施

※ 太字下線の機関は、本市と協定を締結している機関



(4) 参加人数

訓練実施機関：約200人

一般：約300人

その他：約250人

合計：約750人